

日本原子力学会核燃料部会
第22回核燃料部会総会議事録
(平成16年春の年会時)

日時 : 平成16年3月31日(木) 12:15~12:45

場所 : 岡山大学津島キャンパス

出席者 : 約50名

1. 山脇部会長挨拶

平成15年度は例年の活動を継続すると共に、日韓中のセミナーや軽水炉燃料専門家会議の準備等、国際関係活動を重点に活動を進めてきました。これらの活動も、運営委員をはじめ会員の方々のご理解とご協力により軌道に乗りつつあり、深謝いたします。来年度以降の核燃料部会の活動は、核燃料関連の研究者、技術者が日頃抱えている問題点をとり上げる場としてなることが必要であると考えます。例えば、現行基準等に問題がある場合などは、規制側へ学会を通じて積極的に意思表示を行っていくべきであると考えています。また、来年度は軽水炉燃料専門家会議が開催される予定であり、Topical Meeting(米国) TOP Fuel(欧州)に匹敵する会議にしたいと思っております。この会議は原子力学会主催ではありますが、実質的には核燃料部会が中心となって進めている会議であり、この会議を成功させるためにも会員の方々のご協力をお願いいたします。また、これを機に中国、韓国との関係も深め、核燃料部会の活動の場を広げ、より一層発展させることが出来ればと考えています。

2. 議事

2.1 活動報告

須田庶務幹事より平成15年度の活動報告及び今後の活動計画の報告を行った。

(1) 会報

会報第39号は平成16年3月末に発行であったが、校正等があり遅れている。

(2) 総会

- ・ 平成15年9月24日(水) 於、静岡大学静岡キャンパス
- ・ 平成16年3月31日(水) 於、岡山大学津島キャンパス

(3) 部会企画セッションプログラム

- ・ 秋の大会時(静岡大学 平成15年9月24日)
「Generation-IV: 新型炉構想における燃料材料について」
「IAEAにおける燃料サイクル関連活動について」
- ・ 春の年会時(岡山大学 平成16年3月29日)
Water-Cooled Reactor Fuel Modeling
Cladding for Water-Cooled Reactor
Structural Materials for Nuclear Application

山脇部会長より次の報告があった。今回は日韓中の合同セミナーであり、核燃料部会、材料部会、核融合工学部会の3部会で共同開催され、核燃料部会が担当部会となって中心的にまとめてきました。また、今回のセミナーは来年10月に予定されている核燃料挙動に関する国際会議の準備会として位置づけ、3セッションで実施しました。韓国から3名(内1名は急遽欠席)、中国から2名の方を招待し、充実したセミナーで、特に中国から燃料の照射研究の発表があり興味深いものでした。

(4) 運営委員会

今年から運営委員の任期を1月~12月から4月~3月に変更したこともあり、今後運営委員会も年度に統一しました。今年はその過渡期でもあり、運営委員会は合計6回開催されました。

第1回運営委員会	平成15年 1月24日
第2回運営委員会	平成15年 3月28日
第3回運営委員会	平成15年 7月10日
第4回運営委員会	平成15年 9月24日

第5回運営委員会 平成15年12月28日

第6回運営委員会 平成16年 3月31日

(5) 平成15年度決算および平成16年度予算案

・平成15年度決算

庶務幹事の須田委員から下記の通り平成15年度決算報告があり、承認された。決算については今回の春の年会での支出見込みが含まれており、現段階では見込みである旨の説明があった。収入の部では、H15年度夏期セミナーの収入が、関係者のご努力により、予算70,000円に対し、実績316,629円と大幅増であったこと。支出の部では会報の発行を1回/年に減らしたことにより、通信費、発送費、会報印刷費が予算よりも大幅減になったこと。2003年秋の大会の講師謝礼金として24,740円を計上したこと。企画セッションの分担金及び資料印刷費をその他と予備費として80,375円、39,130円計上した旨の報告があった。収支差額134,914円は来年度へ繰り越すことが報告された。

・平成16年度決算

庶務幹事の須田委員から下記の通り平成16年度予算(案)の説明があり、承認された。本案は未だ学会からの配付金が決定していない状況であり、仮の金額が入れている旨の説明があった。収入の部では、夏期セミナー収入は平成14年度の実績を基に70,000円で計上した。支出の部では、通信費、会報印刷費は学会からの申請金額の10%削減要請があり、それぞれ82,000円、153,000円の計上となった。講師謝礼旅費については、平成15年度の実績を考慮して、54,000円を計上した。

核燃料部会 平成16年度予算(案)および平成15年度決算

	H16年度予算(案)・実績予想			H15年度決算		
	予算	年度末実績予想	備考	予算	実績	備考
収入						
配付金収入	277,000	277,000	学会連絡	277,000	277,000	学会連絡
会費	—	—		—	—	
寄付金・賛助金収入	—	—		—	—	
セミナーテキスト売上	—	—		—	—	
セミナー残金	70,000	70,000	H16年度夏期セミナー	70,000	316,629	H15年度夏期セミナー
合計	347,000	347,000	予実差 0	347,000	593,629	予実差 246,629

	H16年度予算(案)・実績予想			H15年度決算		
	予算	年度末実績予想	備考	予算	実績	備考
支出						
会議費				—	1,300	運営委員会会議費
通信費、発送費	82,000	82,000	会報発行回数は1回/年。	182,000	96,300	会報発行回数を1回/年に変更。発送費は未精算のため仮計上
会報印刷費	153,000	153,000	会報発行回数は1回/年。	310,000	156,870	会報発行回数を1回/年に変更。
ニュース印刷費	—	—		—	—	
雑印刷費	—	—		—	—	
セミナー補助金	—	—		—	—	
会員事務管理費	60,000	60,000	学会連絡	60,000	60,000	学会連絡
講師謝礼、旅費	54,000	54,000	講師への謝金と旅費	—	24,740	2003年秋の大会講師への謝金と旅費
記念品作成費等	—	—		—	—	
その他	—	—		—	80,375	企画セッション追加費用80,375円
予備費	—	—		—	39,130	企画セッション資料印刷費39,130円
合計	349,000	349,000	予実差 0	552,000	458,715	予実差 ▲ 93,285
収支差額	▲ 2,000	▲ 2,000	予実差 0	▲ 205,000	134,914	予実差 339,914

年度末繰越金	390,649	390,649	予実差 0	52,735	392,649	予実差 339,914
--------	---------	---------	-------	--------	---------	-------------

単位:円

(6) 次期部会長と委員交代について

・次期部会長について

次期部会長の推薦経緯について、木下委員(森副部会長代理)から、「山脇部会長の任期満了に伴い、次期部会長について検討してきた結果、運営委員会の総意として山脇先生に再度お願いしたい。」との説明があり、会員総会で承認された。

・委員交代について

前回の会員総会以降の運営委員の交代が次のように報告された。

- (東京電力) 久保田修一委員 → 北村秀哉委員
- (JNC) 河野秀作委員 → 木原義之委員
- (四国電力) 坂井浩二委員 → 大沢雄二委員

(7) 運営委員の業務担当交代

庶務幹事の須田委員からH16年度の各担当運営委員の説明があった。

担当	平成15年度担当者	平成16年度担当者
広報	[阪大] 山中委員	[東北大] 塩川委員
ホームページ	[JNC] 河野委員／庶務幹事	[JNC] 木原委員／庶務幹事
部会報	[四電] 坂井委員	[ZP] 萩委員
国際活動	森副部長 [電中研] 木下委員 [NUPEC/JNES] 林委員	森副部長 [電中研] 木下委員 [JNES] 林委員
国内企画 (横断活動、年会時企画)	[東大] 寺井委員 [NDC] 和田委員	[九大] 杉崎委員 [電中研] 木下委員
庶務幹事(財務含む)	[京大] 森山委員 [MRTL] 松本/須田委員	[北大] 佐藤委員 [東電] 北村委員
夏期セミナー幹事	[名大] 松井委員 [原研] 上塚/更田委員	[北大] 佐藤委員 [GNF-J] 伊東委員

(8) 今後の活動計画

- ・ 会報 : 第40号(平成16年12月発行予定)
- ・ 第19回核燃料・夏期セミナー : 平成16年7月(計画中)
- ・ 総会 : 平成16年9月15日(月)～17日(水)
秋の大会時(於、京都大学)
- ・ 運営委員会 : 平成16年度第1回運営委員会(H16/5上旬予定)
平成16年度第2回運営委員会(夏期セミナー時)
平成16年度第3回運営委員会(H16秋の大会時)

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)